



発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◆冬山の3大リスク「吹雪」「滑落」「雪崩」に注意しよう！ <http://aichi-sangaku.main.jp/>

迎春

あさ目覚めると四方は雲の海
 やがて雲が動き始め 数分後
 富士が顔を出す 希望の夜明けだ

山中湖にて PHOTO 中平等新一



新しい年の始めに

明るいあしたを想い
 この難局を乗り越えよう

会長 安藤 武典

明けましておめでとうござ
 います。とは言い難い年始で
 す。思えば、2019年12
 月、中国の武漢で病原体の特
 定されない肺炎が発見され、
 瞬く間に世界中にコロナ禍が
 蔓延しました。

日本では、1月15日に新型
 コロナウイルスの感染が神奈
 川で確認されてから瞬く裡に
 全国に広がり、大変な1年にな
 りました。

最初のうちは対処の方法も
 わからず、ただただ不安の
 日々でしたが、少しでもウイ
 ルスとの対処方法も分かり、
 ワクチン、治療薬の開発も進
 んでいるとのこと。ぜひ
 今年はこのコロナへの対処方
 法が明確になり、我々の不安
 が除かれることを期待したい
 と思います。そして愛知岳連
 会員の皆様には、Withコロナ
 の中で少しでも明るいあ
 したを想い、気持ちを明るく
 過ごしていただきたいと思
 います。

昨年は岳連もほとんど行事

が実施できませんでした。会
 議はwebとなり、書面で皆
 さんの意見をいただかなけれ
 ばなりませんでした。満足の
 活動も提供できず、大変申し
 訳なく思っております。

また、登山や生活そのもの
 が制限され、大人数での登山、
 宿泊登山もできなくなりまし
 た。仲間との懇親も思うよう
 にできません。そんな制限の
 中で、我々は逆にwebとい
 う新しいコミュニケーションの
 方法を知り、人と関わる事の
 ありがたさ、必要性を実感し
 ました。常任理事間のメール
 に改めて仲間がいることの喜
 びを感じ、人と会い、語るこ
 との大切さに気付きました。
 そして仲間と一緒にあって活
 動できる事の素晴らしさを改
 めて思うことができました。
 2021年は従来の生活が
 戻り、さらに有意義な時が過
 ごせる年になることを祈りた
 いと思います。多くの仲間を
 想いながら、もう少し夫々で
 頑張らしましょう。

新しい年を新しい登山様式とともに

理事長 北村 憲彦

新年明けましておめでとうございます。昨年の年明けに始まった新型コロナウィルス禍で、岳連の講習会や研修会などの行事も多くが中止となり、大変苦しい年となりました。

安藤会長が「1日も早く社会機能が回復し、また皆さんと顔を合わせて集まりたいね」と言われる言葉は切実です。制限があっても少しずつでも仲間との交流を絶やさないように前を向きたい、新しい生活に合わせた新しい登山の仕方はどうすれば良いのか、社会人、高校生、大学生それぞれにどう対処していくのか考えながら、一段21cm職場の階段を上り下りして過ごしています。およそ無理なく、週に高低差500m越えに相当し、鹿屋体育大学の山本正嘉先生の提唱される中高年の安全登山の目安に一致しています。

そんな中で思いついた一つが、令和2年11月27日のweb講演会「第24回遭難を考える会」でした。短い案内期間で不慣れにもかかわらず、43名

の方に参加いただき、登山ガイドの島田和昭さんを講師にオンラインでお迎えしました。自粛要請解除後の登山ガイド活動について、対処と行動のガイドラインについて、悩みながら医療関係者も交えた協議を重ねたことを拝聴できました。

質問では、あまり登山できない中でトレニングなどが若い会員から聞かれ、山小屋、サイト地についての予約制などへの注意、誰が感染しているか分からないために、たとえ事故をしてもヘリも救急車も使えないのが現状という厳しい情報もありました。

終わりに、登山のリスクと新型コロナウイルス感染のリスクの両方に備えた行動の必要性を強調されていました。参加者からも言われたように、この状況下で登山の欲求をいかに満足させるか知恵の絞りどころ、同感です。登山の神髄は、不自由な状況を理解し、それに適応していくことです。そのためチャレンジを新しい年に、新しい発想で、一歩ずつ重ねていきましょう。

タンナカ高原で自然観察会

自然保護委員長 栗木 洋明

第51回自然観察会を10月25日(日)、岐阜県飛騨市の「タンナカ高原」で実施。昨年度の計画が雨で流れていたため、今回の自然観察会は念願かなっての実施となった。

集合場所である数河高原に、3団体28名の参加者が予定時間より早く集合できたため、早めに関会式を実施。その後



すぐにスタート地点のタンナカ高原に車で移動。スタート地点に到着してみると、あたり一面にはすばらしい紅葉のブナ林が広がっており、車から降りるや否や、参加者の皆さんから感嘆の声が漏れ聞かれ、ほっと胸をなでおろすことができました。

記念撮影をした後、さっそくスタート。講師の小野木先生の説明で、参加者は辺りを見回しながら感動に浸るばかりであった。単調な尾根道を想像していたが、予想以上にアップダウンのある道ではあったが、説明を聞きながらの前進なので苦にはならなかった。

今回のコースは直線距離で2キロほどであるが、アップダウンのある曲がりくねった山道を2時間45分をかけて進行。小川のせせらぎを聞きながら予定通りの場所で昼食。毎年、バーベキューなどのお楽しみを準備していたが、今回はコロナの関係もあり特別なイベントは無し。しかし、それにも勝る紅葉の素晴らしいブナ林で食事ができ、十分満足のいく自然観察会を実施することができた。

～店舗が移転しました～

山用品の専門店

駅前アルルス

〒460-0011
名古屋市中区大須4-1-9 (菱水ビル1F)
地下鉄・矢場町駅 徒歩8分
TEL 052-446-6511

安心して選べる三河地区

ピギナーからエキスパートまで

のプロショップ

JR刈谷駅前

穂高

〒448-0825
刈谷市神明町6-408
TEL 0566 (23) 8611
定休日/火曜日
営業時間/10:00~20:00



登山用品豊富!

御在所岳で遭難事故防止啓発活動

道迷いや非常装備の携帯呼びかけ

遭難対策委員長 中川 邦仁

昨年11月8日(日)御在所岳に至る3つの登山口で、作成したチラシを配布しながら、遭難事故防止を呼び掛ける活動を実施しました。

今年コロナ禍により多くの事業が実施できない中、遭難対策として何かできる事はないだろうかと考えていたところ、ある理事より「登山口での呼びかけをやってみませんか」と提案があり、当日は8名の理事の方にご協力して頂き、規模は小さいながらも行事ができました。折しも前日に参加した鈴鹿山系連絡協議会にて、三重岳連の方々も大々的に行う事を知り、一緒に活動させていただくことになりました。

当日は鈴鹿スカイラインの駐車場に6時半に集合でしたが、すでに駐車場は満車状態。道路脇の駐車スペースは遥か下まで埋め尽くされていて、秋晴れの登山日和で紅葉と自然を目当てに、ファミリー登山からトレイルランナー、常連のクライマーまで多くの登山者がこの山域に訪れていました。
7時頃より中道登山口、裏道登山口、朝明溪谷に於て2

3名ずつにわかれて活動。単独での登山や道迷い、非常装備の携帯などを特に注意を呼びかけました。またコロナ禍における、登山様式のチラシも配布し関心を持って頂けたのは、ほとんどの登山者がスマホの地図アプリなどで、観光マップや中には何も持っていない方もいて少し驚きました。9時頃までの2時間程度の活動でしたが、まだまだ登山者が途切れる事なく上がってくる様子で、登山の人気の高さがうかがえました。



中道登山口にて

印象に残った私の登山

28

フィンランドへの追憶

碧稜山岳会

中村 彰吾

これまで登った日本アルプスの峰々や、厳しい山行なども思い出に残る登山でしたが、私が一昨年の秋に妻と登った一風変わったフィンランドでの登山を記したいと思います。私たちがフィンランドを訪れたのは晩秋、ちょうど冬に入る直前の時期。以前知り合った、フィンランドに住むアメリカ人クライマー、アランに案内してもらいました。彼とは三年前に来日した際、山岳会の先輩のツテで知り合い、彼が帰国後もたびたび連絡を取り合っており、私たちがフィンランドの山に登りたいと相談した際、快く案内を引き受けてくれました。

は、ベリーとキノコ摘み。いつになったら岩壁が出てくるのだろうかと思っていると、出てきたのは野生のトナカイの群れ。どこでビバークするのかわかっていると、到着したのは小さいながらも快適な、暖炉のある山小屋。同泊した地元のおじさん達と語りながら快適な一晚を過ごし、翌日、簡単な歩きで山頂に到着しました。

ただ、彼は、パタゴニアやヒマラヤにも遠征する、ハイレベルなクライマー。そんな彼が案内してくれるというのだから、きつと厳しい登山待っているのだろう。そんなことを考えながら、三年ぶりに会う彼と、再会の握手を交わしたのでした。

フィンランド北部に位置する、このアカスロンプロという山、おそらく多くの方は聞いたことすらないと思います。冬は山スキーなどが盛んな場所ですが、標高も低く、わざわざ外国人が訪れることはほとんどありません。妻と一緒に山頂に立った時、アランが笑いながら言う。「多分、君たちが日本人の初登攀だよ」私たちが顔を見合せて笑った。

そして当日、登山靴を固く締めて歩き出し、一時間くらい歩いたところで始まったの

も絶え絶えになるような苦しい急登もない。辛かった登山ほど記憶に残るというが、こんなふうに残るだけの登山もたまにはいい。まだ学生の頃、登山を始めたばかりのときの楽しい記憶がよみがえってくるような、印象に残る登山でした。

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい(帰化)、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
(地下鉄・久屋大通駅から徒歩2分) 丸の内東桜ビル1004号室
TEL: 090-4857-9130
URL: <http://www.nygs-office.com/>

うなぎ錦三丁目 い ば しょう



〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
TEL <052> 951-1166 番
営業時間 午前 11:00~午後 2:30
午後 4:00~午後 8:00
定休日 日曜日・第二・第三月曜日

第9回鈴鹿山系連絡協議会

遭難対策・自然保護活動など

第9回鈴鹿山系協議会が、11月7日(土) 13時から鈴鹿道の駅「鈴鹿10座ビクターセンター」(奥永源寺溪流の里)に於て開催された。

参加者は、滋賀8人、兵庫2人、京都2人、奈良1人、三重8人、岐阜3人、愛知4人の28人で、各県の遭対や自然保護の活動状況が以下の通り紹介された。

▼各県の遭難対策活動

【兵庫】5月くらいから六甲山系で活発化、厳しい自粛期間を経て3密になりにくいアウトドア志向が増えたようである。9月から岳連行事を再開、机上のイベント定員オーバーとなり会場人数制限をした。今後は会場に来る人とりモート参加可能なように、神戸の登山研修所などのモニター設備などの整備を予定。

【京都】遭難の集いなどの企画は通例百人来るが、すべて中止した。今後はセルフレスキューに役立つように遭難対策の消防士の方に「遭難事例や捜索活動について」web講演を予定。

【奈良】登山届の提出など啓発活動中。
【三重】昨年12月に三重県山

岳遭難対策協議会は解散した。現在新しい協議会を準備中、8月の「山の日」ぐらいから岳連活動再開。11月8日鈴鹿各地の入山口で「秋の安全登山と自然保護啓発活動」を予定。令和元年、道迷いや疲労の事故が74件、2年11月3日現在では50件。山レコで長野、岐阜、山梨、三重の事故情報アップロード、12月20日に「防災航空隊から見た遭難事例」の講演会を予定。

【岐阜】北アルプス事故が56%、11月から遭難対策活動を再開。人数制限をして読図講習会を開き、参加者には伝達講習用の資料も配布。委員会としてアンケート調査「どのような活動をしてほしいか」など調査集計中。

【滋賀】遭難対策協議会の活動を目に見える形にするためホイッスルとLEDライト、協議会名前入りのジャケットなど着用して啓発活動し、マスコミにもアピール。登山届をしやすいようにするために「コンパス」に飛ぶようにQRコードを活用。滋賀県内で事故の多い県は大阪、東京、愛知、低山の事故が多い。全

体の47人のうち愛知15人の事故者(2年10月現在)

【愛知】11月8日に啓発活動新しい生活に合わせてweb利用で講習会や勉強会を検討中。山岳遭難対策協議会について改訂中。

▼各県の自然保護活動
【兵庫】歴史地理と自然観察会を6月から活動再開、5月に清掃活動なども一部実施。
【京都】トレイル委員会の清掃など通例の活動は中止。11月29日に東山鹿ヶ谷を含む古道を歩く観察会予定

【三重】大台山系東側でモトクロス用のバイクが奥駆けコースを走っていた。山道の保護が必要が急務、夏の行事は中止。11月28日根平峠周辺の清掃と自然観察を予定。
【岐阜】6月6日夜叉ヶ池開山祭代表者6名のみで実施。2021年版オリジナルカレンダー作成(5000円で配布中)加盟団体会員から応募した写真の力作で岳連財政に役立っている。10、11月にかけて各山岳会で清掃登山、登山道補修、標識整備、自然観察などの推進月間とする。自然保護員の減少、高齢化...若い人を増やしたい。

【滋賀】6回行事計画をしたが天候不順もあり5回中止、1回実施、動植物の観察、歴史地理のテーマで実施。道の荒れが進行しているように感じる。

【愛知】令和元年度活動報告5月18、19日山菜料理と自然観察、9月16日キノコ観察会10月27日紅葉観察会。2年度10月25日宮川町タンナカ高原で自然観察会。また東三河のオフロードバイクによる登山道の荒れ状況と危険な体験。ラリーなど浜松のお店の関係で開催されている。
▼三重国体、2021年に開催予定、開会式と閉会式はオンラインにする。最も厳しいガイドラインに沿った新型コロナウィルス感染症防止対策を取る。例えば喫煙所なし、おもてなしでジュースなどの提供なし、リハール大会なしの本番のみとなる。費用と運営の人を減らす努力が続けられている。国体関連で滋賀県からは2024年予定が1年ずれ25年になる見通しとのこと。
▼鈴鹿山系エリアに特化した意見・情報交換
【三重】御池岳での事故事例3件が複数の地図を使いながら詳細に紹介された。スマホアプリでGPSで現在地は分かるけど、無数の登山道がYMAPやマレコに現れ、現地の道との整合などが難しい。また、国土地理院の地図と山と高原地図のルートが違っている。標識タイプの統一が必要(釣り師のタイプ、登山者のタイプなど色々あり)道

【愛知】令和元年度活動報告5月18、19日山菜料理と自然観察、9月16日キノコ観察会10月27日紅葉観察会。2年度10月25日宮川町タンナカ高原で自然観察会。また東三河のオフロードバイクによる登山道の荒れ状況と危険な体験。ラリーなど浜松のお店の関係で開催されている。
▼三重国体、2021年に開催予定、開会式と閉会式はオンラインにする。最も厳しいガイドラインに沿った新型コロナウィルス感染症防止対策を取る。例えば喫煙所なし、おもてなしでジュースなどの提供なし、リハール大会なしの本番のみとなる。費用と運営の人を減らす努力が続けられている。国体関連で滋賀県からは2024年予定が1年ずれ25年になる見通しとのこと。
▼鈴鹿山系エリアに特化した意見・情報交換
【三重】御池岳での事故事例3件が複数の地図を使いながら詳細に紹介された。スマホアプリでGPSで現在地は分かるけど、無数の登山道がYMAPやマレコに現れ、現地の道との整合などが難しい。また、国土地理院の地図と山と高原地図のルートが違っている。標識タイプの統一が必要(釣り師のタイプ、登山者のタイプなど色々あり)道

～ アジア最大のスポーツの祭典 ～
第20回 アジア競技大会
(2026/愛知・名古屋)
日時 2026.9.19(土)～10.4(日)
会場 瑞穂公園陸上競技場 他
主催 アジア・オリンピック評議会

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設

住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地 ☎0532-26-3737
MONTANA

住所: 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 <http://www.montania.jp>

迷いを誘発している可能性あり。環境省管理下で、大台ヶ原では水色で統一したテープが使われている。登山届のポストが必要、登山届の用紙、様式などの統一も必要かもしれない。ポストによつては登山届が回収されずにあふれている。個人情報保護の観点から好ましくないと思われる。「滋賀」道標の設置は簡単ではない。環境省からは景観を損ねるから、設置した看板や道標は取り外すように指導される(事故処置で使った消防などの標識については、そのようなことは言われない)多くの登山者に尋ねた結果85%が地図アプリで国土地理院の地形図は4%ぐらいの人数しか持っていない。モンベルの講習会などへの参加目的の9割が地図読み能力向上。鈴鹿10座エコツアーガイドクラブが登山届ポストなど管理している。

・読図などを解説する動画がYouTubeで国立登山研修所で10月からアップロードされた。

・この協議会では多くの良い意見が出ています。機会を見つけて行政や警察などへの働きかけも必要。

尚、今回は三重県が担当する。「愛知県から、安藤会長、北村理事長、中川遭対委員長、栗木自然保護委員長が出席」

令和2年度 冬山入山状況

2020.12.16現在

▲槍・穂高岳方面

(No.)	(所属団体名)	(登山期間)	(登山ルート)	(リーダー)	(人数)
1	名古屋山岳会	12/26 ~ 12/29	上高地~明神南西尾根~明神主峰~明神南西尾根~上高地	吉居 寛記	3名
2	〃	12/26 ~ 1/1	西穂高口~西穂高~ジヤングラム~奥穂高岳~瀧田富士~白出沢出合~新穂高温泉駅	近藤 英佐夫	2名
3	MMC岡崎山岳部	12/26 ~ 12/28	中房温泉~燕岳~中房温泉	青木 貴祥	9名
4	春日井山岳会	12/26	位ヶ原~摩利支天岳~位ヶ原	坂口 公美	2名
5	豊橋山岳会	12/27 ~ 1/2	赤岳(幕営)~槍ヶ岳山荘(幕営)	木村 崇	3名
6	春日井山岳会	12/27	南尾根~焼岳~下堀沢	坂口 公美	2名
7	名古屋山岳会	12/29 ~ 1/2	南岳西尾根~南岳~槍・大喰岳~大喰岳西尾根	吉村 賢	3名

▲剣・後立山方面

1	G S A	12/26 ~ 1/5	早月尾根~剣岳~早月尾根	内田 雅人	2名
2	名古屋山岳会	12/31 ~ 1/3	爺ヶ岳東尾根~爺ヶ岳~爺ヶ岳東尾根	丹羽 大輔	2名

▲南アルプス・ハヶ岳方面

1	豊田山岳会	12/26 ~ 12/28	本沢温泉~天狗岳~黒百合ヒュッテ	山本 幸久	10名
2	豊川山岳会	12/26 ~ 12/27	黒百合ヒュッテ~天狗岳	河合 芳尚	7名
3	日本山岳会東海支部	12/26 ~ 12/27	赤岳鉱泉~硫黄岳~赤岳鉱泉	栗木 洋明	12名
4	やまびこ山想会	12/29 ~ 12/30	行者小屋~赤岳~行者小屋	宮森 千治	4名
5	G S A	1/1 ~ 1/2	周辺アイスクライミング石尊稜ピーク登攀	濱田 正人	2名
6	豊橋山岳会	12/27	広河原左俣~広河原中央稜	浦川 陽子	2名
7	〃	1/3	第一・二展望台~西・東天狗岳~黒百合平	鈴木 克巳	12名
8	〃	12/30 ~ 1/4	黒戸尾根5合目(幕営)~黄蓮右俣~甲斐駒ヶ岳頂上~5合目(幕営)	岩本 英基	2名
9	やまびこ山想会	1/2 ~ 1/4	黒戸尾根~甲斐駒ヶ岳頂上~黒戸尾根	宮森 千治	1名
10	豊川山岳会	12/30 ~ 1/1	丹溪荘周辺「舞姫の滝」・「奥駒津沢」	白井 良岳	2名

▲その他方面

1	豊川山岳会	12/29 ~ 12/30	越百山(往復)	河合 芳尚	4名
2	岡崎山岳会	12/27 ~ 1/3	加賀禪定道~白山~加賀禪定道	窪田 大地	3名

1. 計画書は家族・緊急連絡先へ提出する。
 2. 予備日と非常食は必ず準備する。
 3. 現状メンバーの技術に沿った計画とする。
 4. 各隊の救助体制を決めておく。
 5. 山行中は、自分の現在地を見失わない。
 6. 雪崩・雪庇踏み抜き滑落には、充分注意する。
 7. 悪天候でヘリの飛ばない日が続くことがある
 8. 所属山岳会への連絡(警察への救助要請確認)
 9. 事故連絡先を決める(遭難者隊連絡先とは別とする)
 10. 岳連への報告・救助依頼→遭難事故報告書
- ので認識の決断を早めに対応する~事故になったらセルフレスキュー(他パーティーへの、救助要請)

自然観察会に参加して

紅葉のブナ林楽しむ

鈴木行薫

講師の小野木先生の冒頭の挨拶は、いつもの御嶽山に対する熱い語りが始まります。先生はいつも全身を緑色にコーディネートされています。先生の高山の自宅も屋根や壁も緑色と伺っています。一度見てみたいものです。

さて当日の朝、国道41号線沿いにある数河高原の駐車場に他の山岳会の参加者も含めて28人が集う。タンナカ高原の入口の駐車場に車を置いて散策開始。

ブナの紅葉の森の中を気持ちよく歩く。先生からブナとイヌブナとの区別について説明を受ける。ブナの側脈は10本、イヌブナの側脈は15本。また日本海側のブナの葉は大きく、太平洋側は小さい。その根拠にはいろいろな説があるが良くわからないとの事。今年のブナの実は不作であること。極相林、クライマックススフォレストの説明などを受けた。先生の話はダジャレが多く、真剣に聞いているとずっくける。「皆、この葉は何枚? 64枚、葉っぱ64」私も先生のダジャレ入りの説明にも慣れしてきた。

途中の登山脇には「ツキヨ

タケ」というきのこも見た。夜になると発光するという毒きのこである。一度見てみたいものである。

タンナカ高原の奥入瀬溪流と言われる小川沿いを歩き、広場で昼食を摂り、元の駐車場にて解散式。

ブナ林の紅葉真っ盛りの秋の山歩きを楽しみました。(自然保護委員)

北谷小屋トイレ 奇麗になってます!

11月8日(日)遭難防止活動の帰路、北谷小屋に行き有志らでトイレの清掃を行って来ました。ご利用ください。

会報「やまびこ」から引用

千畳敷が冠雪で... 観光客らパニック

10月18日、今週末が見頃になりそうな千畳敷カールの紅葉を見ようと名古屋を5時20分に駒ヶ根普の台バスセンターに向かう。途中、高速道路から見る山々は、昨夜来の雨が雪に変わり真っ白!

岳連ニュース協賛店を応援しよう!

愛知県山岳連盟を応援してもらっている協賛店(岳連ニュース掲載会社)もコロナ禍で厳しい状況だと思えます。この岳連ニュースを見て頂いている方々、岳連会員の皆様、今こそごころの応援に感謝して、これらのお店を応援しようではありませんか。ご協力をお願いします。

尾上氏が回想録出版

当岳連参与・尾上昇氏が、このたび回想録「追憶のヒマラヤ」を出版されました。ぜひ一読ください。

常任理事会

12月1日(火) web会議

- 出席者) 安藤会長、伊藤副会長、北村理事長、岩瀬副理事長、高木、木田、木田(陽)、栗木、中川、佐橋、谷澤、多田、倉、星、相山各常任理事、今泉・安藤会長あいさつ
I 報告事項
1. 北谷小屋管理委員会(11/19) 北谷小屋の点検、掃除、トイレ掃除など
2. SC強化・普及日程の改定(12/26) 27愛媛・倉菜々子さん出場、高校生選抜SC(加須)6名出場予定
3. 第24回遭難を考える会(11/27web講演会) 講師 島田和昭氏「新型コロナウイルス禍での登山ガイド活動」

9時10分、千畳敷でアイゼンを装着し出発。だがアイゼンを付けていない若者たちが、案の定、急登で苦戦しだし渋滞が始まった。乗越浄土から中岳の稜線は風が強く、中岳から頂上山荘への下りでは積雪が多くなつた。駒ヶ岳山頂に11時30分着。白銀の北アルプス、南アルプス、八ヶ岳、御嶽などの山々を楽しみながら昼食。12時20分下山を開始する。ところが、乗越浄土から千畳敷の下り道は雪が締まってツルツルし、大渋滞が発生!! 登った方がいいが、スニーカー

の若者、アイゼン無しの登山者、降りられなくしゃがみ込んで一歩も動けない人が大勢。滑り台の要領でアイスパイン化した所をお尻で下る人も多く、見ていて怖かった。結局、下りに3倍くらいの時間を費やして千畳敷に到着した。今回は、想定外の積雪で八丁坂下山途中で転倒者続出の中、怪我人がいないか心配でした。こういう状況のとき、ホテルの関係者か遭対協の人が登山口について、何らかの指示をすることが必要だと痛感しました。(中條京子)

「どうとう昨年はコロナで始終してしまつた。なにしろ近年稀な疫病なので対処法が定まらず、第3波まで来て年を越した。当初、各方面から登山に対する指示が次々と出され、小屋の閉鎖や人数制限など、3密を避ける方法など、登山も活気を失つた。「岳連ニュース」も話題にも乏しく苦慮する。まず今年はコロナの収束を急がないと、また行事の中止が相次ぎ、東京オリンピックの開催も危ぶまれる。なによりも危惧される国民の行事である。(N)

- 下活動) 43人参加。
4. その他(10/20第3回理事会書面審議の結果)
II 審議・お知らせ事項
1. 冬山遭難対策会議(12/16書面)
2. 登山勉強会の内容・方法・時期について
3. 令和2年度「東海ブロック正副会長、理事長会議」対面会議は難しい、web会議が妥当か東海三県に連絡を入れる。
4. 雪山訓練(中止)
5. SC審判員講習(1/16申請中、場所未定、講師は佐原先生に依頼中)
6. 理事会(1/19web会議で行う)
7. 伊藤副会長あいさつ

編集後記

